

口頭発表 3月21日(水) 1日目		
OA-1	苅山靖	ジャンプ運動からみた「ばね能力」を前提とするスプリント走動作—競技力に至る階層構造に着目したトレーニング学的研究—
OA-2	田中勇悟	水平ハードルジャンプテストを用いた身体の回転動作を引き出すためのコーチング手段
OA-3	岩竹淳	高低差を用いた一過性のリバウンドジャンプ運動がリバウンドジャンプパフォーマンスに及ぼす即時的効果
OA-4	岡子浩太佑	下肢伸展運動による力の立ち上がり率からみた筋力・パワー発揮特性
OA-5	前川剛輝	エリートスピードスケート選手の高地トレーニング—選手招集型チームにおけるジュニア期からの継続的な実践事例—
OA-6	中垣浩平	準高地環境における陸上長距離選手のトレーニング効果
OA-7	中澤翔	長距離走トレーニングとハーフマラソン記録の関係—%VO2maxを用いたトレーニング分析の一事例—
OA-8	遠藤俊郎	教示情報が最大下の持久性運動パフォーマンスに及ぼす影響
OA-9	大崎恵介	小学生におけるスポーツ鬼ごっこプレー時の運動学的特性
OA-10	平嶋裕輔	サッカーのゴールキーパーにおける世界トップレベルと日本人トップレベルのシュートストップ能力差
OA-11	城本真輔	男子やり投選手のキネマティクスの分析
OA-12	北崎悦子	テニスのラリーにおける指導の実践知に関する事例的研究—世界トップ60に到達した女子テニス選手を指導したコーチの語りを手がかりに—
OA-13	水島宏一	平行棒における「懸垂前振り開脚抜き、伸身かつ水平位で懸垂」の技術に関する一考察—類似技と比較して—
OA-14	米原博章	男子一流棒高跳競技者における競技的観点に関する研究
OA-15	民内利昭	コーチングの違いによるクラウチングスタートのパフォーマンス変化
OA-16	小西連	シャトルランテストにおけるICTの活用事例—体育授業で心拍計とiPadを使用して—
口頭発表 3月22日(木) 2日目		
OB-1	新海萌子	スマートフォンとフィジオロールを用いた動的な姿勢づくり体操の試案とその評価
OB-2	奈良梨央	ストリームライン姿勢時の脊柱アライメントがけのびパフォーマンスに与える影響
OB-3	林亨	競泳選手におけるゴール型ディスプレイを用いた内的及び外的映像視聴後のパフォーマンスと生理応答の変化
OB-4	明石啓太	競泳のスタート局面における潜行深度の調節方法と重心水平速度の影響
OB-5	佐藤大典	バックストロークレッジを用いた背泳ぎスタート動作の比較—女子選手における日本上位選手と日本学生選手権出場選手を対象として—
OB-6	谷川哲朗	片側前腕欠損者におけるバタフライの動作特性
OB-7	若吉浩二	自転車エルゴメータを活用した競泳選手の水中牽引力およびパワー測定法の検討
OB-8	吉田結花	一般大学生の泳パフォーマンスは牽引泳トレーニングで向上する
OB-9	中山紗織	ドイツ・ライプツィヒU10チームでのハンドボールコーチング活動に関する事例報告—コーチの視点の変容に着目して—
OB-10	山田永子	オランダハンドボール協会における選手強化プロジェクト「To be better」 躍進を続けるオランダ女子代表チームを支えているもの
OB-11	東海林祐子	指導者のジレンマの認識とライフスキルの理解が高校運動部活動の部員のライフスキル獲得に与える影響
OB-12	安田拓	日本文化がチームスポーツのスタイルに及ぼす影響についての一考察—バスケットボール競技におけるオフェンス・スタイルに着目して—
OB-13	高平健司	小中の一貫性を考慮した少年柔道指導の安全指導についての研究—「受け身」の要素を取り入れた適切な転び方など傷害予防につながる体育学習について—
OB-14	梶山俊仁	「フールドラグビー—試験的ルール」の検証—2016年度及び2017年度のジャパンラグビー トップリーグにおけるスクラムに着目して—
OB-15	渡邊裕也	Performance Profilingによる集団凝集性の向上
OB-16	佐藤徹	運動の自己観察における気づきの構造 動きの違いに気づくことのできる選手の養成に関する現象学的考察

